

# 穂の香看護専門学校自己点検・自己評価(令和2年度※1)について

## 1.目的

学則第34条に基づき教育活動、養成所運営状況について評価を行うことにより、養成所運営の改善点を明らかにし、教育水準の向上のために組織的・継続的な改善を図ることを目的とする。

## 2.評価方法

穂の香看護専門学校「自己点検・自己評価に関する規程」に基づき、学校運営について、9カテゴリー（点検数合計125項目）から、下記2カテゴリー（点検数合計48項目）を選択し、3段階（3：よく当てはまる、2：大体当てはまる、1：当てはまらない）で自己点検・自己評価を行い、各カテゴリーの項目ごとの平均点を算出した。

NO	カテゴリー名	項目名
III	教育課程経営	-1 教育課程経営者の活動
		-2 教育課程編成の考え方とその具体的な構成
		-3 科目、単元構成
		-4 教育計画
		-5 教育課程評価の体系
		-6 教員の教育・研究活動の充実
		-7 学生の看護実践体験の保障
IV	教授・学習・評価過程	授業内容と教育課程との一貫性 看護学としての妥当性 授業内容間の関連と発展
		-1 授業の展開過程
		-2 目標達成の評価とフィードバック
		-3 学習への動機づけと支援
		-4 学習への動機づけと支援

## 3.評価結果



## 4.総評（改善点・課題等）

昨年度の自己点検・自己評価では、評価の視点をこれまでの9カテゴリー32項目から、9カテゴリー125項目に増加して実施したが、毎年全てのカテゴリーとその項目の点検を、継続的に行なうことが困難となった。

そのため、今回は、令和2年度外部評価委員会からの改善・提案を受け、学校の状況に応じた、計画的な点検、改善、再評価を実際に取り組めることができるカテゴリーと項目として、「教育課程経営」及び「教授・学習・評価過程」を選択して、自己点検・自己評価を行った。

その結果、「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」では、両カテゴリーとも、概ね平均点2点「大体当てはまる」の評価が確認できたが、各項目では、1. 5～2. 4点と評価に差が生じたことが確認された。

この結果を受け、本校の更なる教育の質の向上のために、来年度のカリキュラム改正を見据えた、学校独自の目標管理を導入して、個々の教員がレベルに応じた成長ができる仕組み作りを課題としたい。

※1 平成31年4月1日～令和2年12月31日までを評価期間としたため、令和2年度と表記した。